

議会ポスト 意見等への回答

作成日：令和4年6月17日

作成者：上越市議会議長

寄せられた意見等

子供のマスクが心配な父ちゃん母ちゃんずの不採決について

全国各地で子どもの熱中症とみられる救急搬送、重症化が相次いでいます。

6/2には大阪府中央区の中間一貫校で、

6/3には兵庫県尼崎市の中学校で、

そして兵庫県神戸市の小学校では体育の運動会練習中に5.6年生12人が体調不良を訴えうち6人が救急搬送、1人が重症。

その時の気温は21.8℃、湿度61%。

熱中症の危険度を示す指数は最も低い「ほぼ安全」でした。

半数の児童がマスクを着用していたそうです。同校の校長補佐によると「着脱の指示はしたが必ず取りなさいという指示は出していなかった」との事。

尼崎市の中学校では当時マスクを外すような指導はしておらずほぼ全員がマスク着用のまま練習をしていたそうです。

これからが夏本番です。今よりも確実に暑くなる中、国や行政の指示に従う事が本当に正しい事でしょうか？

子供に何かあっては遅いのです。

子どもの重症化や死亡率がほぼ無い中マスクの必要性が本当にあるのでしょうか？

それよりも子ども達のマスクによる健康被害や子どもの中にもいるマスク警察、そしてマスクによるいじめ、自殺。

こっちの方がよっぽど重要です??

本来マスクの着脱は自由なはずです。

是非子ども達のマスクを外す方向に動いて下さい。上越市が動けば必ず後から市や県が続きます。是非その先頭を切ってください。よろしく願いします??

回 答

この度はご意見を頂き、ありがとうございます。

6月10日（金）の文教経済常任委員会において、令和4年3月定例会で継続審査となった「上越市の子ども達の心身の健全な成長、発達のための教育活動を求め、それにかかわる多様な考え方や選択を尊重することを求める請願書」の審査を行い、委員間で真摯な討議が交わされたところです。

各委員の陳情への賛否の立場こそ異なっておりましたが、まちの将来を担う子どもたちの安全、すこやかな成長、差別・偏見・いじめのない学校生活など、安全で安心な学校生活を願う気持ちは、各委員に共通したものでした。

6月22日（水）の本会議において、各議員は、市民の多様な意見を踏まえ、本請願の採決をする予定です。引き続き、当市議会に関心をお寄せいただき、採決の様子を傍聴いただけますと幸いです。

今後のご意見、ご要望などをお聞かせいただきたいと思います。と存じます。